

中日本航空専門学校で技能コンテスト

「空の安全」 学生研さん

ボルト固定など
速さと正確さ競う



エンジン整備の正確性を確認する学生
＝関市迫間、中日本航空専門学校

中日本航空専門学校(関市迫間)で7日、航空整備科の学生による第6回技能コンテストが開かれ、整備技術の腕を競った。(田島豪人)

学生の整備技術やモチベーションの向上を目的に毎年行われている。今さ、ノギス(定規)の早回1〜3年の学生約53人のほか、全日空や日本航空などに就職した卒業生、姉妹校の南シオトル大の学生ら計約30人も参加した。

競技は11で、4人1組の団体戦を中心に競った。航空機やヘリコプターのエンジンのボルトが課題」と話した。